



学校だより



令和5年4月28日
5月号
調布市立第一小学校
校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> Tel.042(481)7636

くつを毎日揃えることが…。

副校長 山崎 清香

青葉の光る、風薫る5月がやってきました。
早いもので、新学年がスタートしてから一ヶ月が経ちます。子どもたちは、新しい学年・クラスにも慣れ、元気に学校生活を送っています。

先日、校庭での全校朝会を終え、昇降口で教室に入ろうとした時のことです。2年生の教諭が子どもたちに対して、「さあ、今日も、100点の靴の置き方を目指そう。昨日よりもきれいにね。」と声をかけていました。子どもたちは、しっかりと靴のかかとの部分をそろえて、丁寧に靴を置き、教室に入っていました。整然と置かれた靴からは、ついつい写真を撮ってしまいたくなるほど、美しさを感じました。

「くつの置き方にはこだわっています。心が育つからです。」と、自信をもって話された先生の言葉から、ある詩を思い出しました。



はきものをそろえる
はきものをそろえると 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう
ぬぐとくにそろえておくと
はくとくに心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だまってそろえておいてあげましょう
そうすればきっと
世界中の人の心もそろうでしょう

この詩は、長野市の円福寺の住職だった藤本幸邦（ふじもとこうほう）さんがつくった詩です。

「靴をそろえる。」という簡単そうなことも、毎日続けることは、大変です。でも、それが習慣化できる人は、根気強さが身に付きます。そして、継続することが当たり前になると心にも余裕が生まれてきます。結果、周りに対して気付く力も付き、他の人への優しさ・気配りをもてることにつながります。最終的に、「はきものをそろえる」ることが、良い社会になっていくのだと、この詩は教えてくれます。

未来を担う子どもたちの健やかな心を育てるために、日常生活での大切なことについて、学校でも指導しています。ご家庭でも、話題にしていいただければ幸いです。

5月の生活目標

廊下・階段は静かに歩こう

廊下や階段を静かに歩行することは、安全に気を付け、落ち着いて生活する上で大切なことです。

廊下・階段歩行のルールを身に付けさせると同時に、楽しく明るい学校生活を送ることができるようにしたいと思います。